

# かすみがうら

## 最新の体に優しい内視鏡検査と治療

外科医長 矢野 和仁

第99号  
 <毎月1日発行>  
 発行所  
 霞ヶ浦医療センター  
 かすみがうら編集部  
 〒300-8585  
 土浦市下高津2-7-14  
 Tel 029-822-5050  
 Fax 029-824-0494  
 E-mail & Web Site  
 kasumi@kasumi.hosp.go.jp  
 http://www.hosp.go.jp/  
 ~kasumi/

皆さんは、どのくらいの割合の方が『がん』になられるか御存じでしょうか？現在、年々増加し男性の2人に1人が、女性の3人に1人ががんになり、毎年新しくがんと診断される方が60万人近くに達しています。ただし最近では診断と治療が進歩し、がんの種類によっては、早期発見、早期治療が出来るようになってきています。特に胃や大腸におきましては、日本が世界に誇る内視鏡の機器の素晴らしさや技術の高さによって、非常に小さながんを発見し安全に治療が行えるようになりましたので、是非皆様にご紹介したいと思います。

まず内視鏡とは先端に超小型高性能カメラ(CCD)が付いている細く柔らかい管で、それを体の中に入れることによって外のテレビモニターで見られるようになってきます。また観察と同時に組織生検することが出来、良悪性の診断が出来ます。胃の内視鏡でしたら、口もしくは鼻から、大腸内視鏡でしたらお



図1: 鉛筆より細い経鼻内視鏡

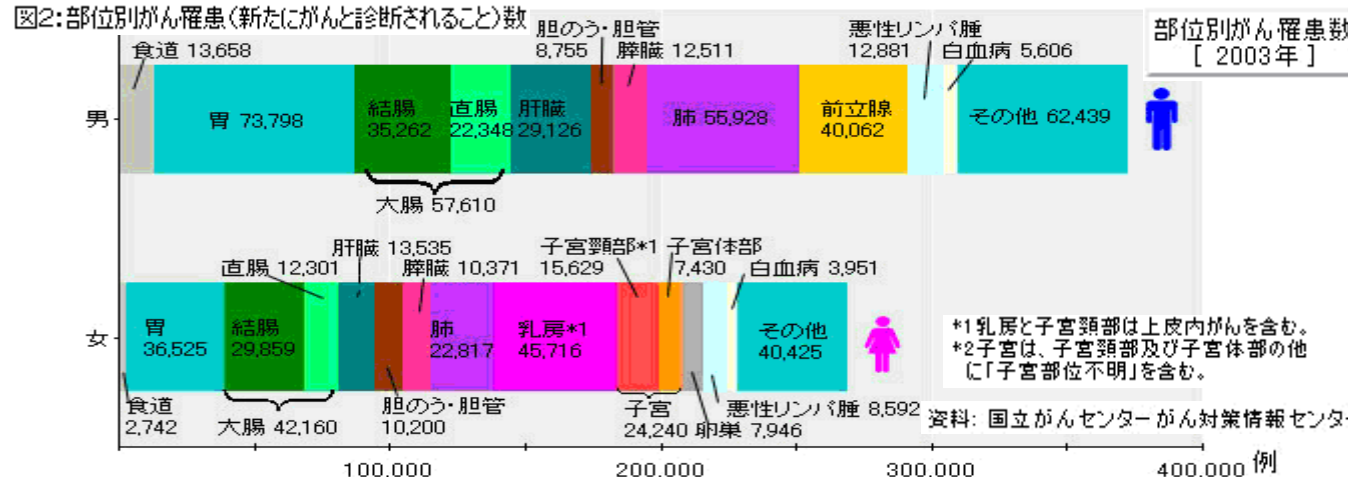
食事中の方にはすみませんが、肛門から挿入し、中を観察します。以前の内視鏡と比べ、ハイビジョン画像となり非常に綺麗で詳細な観察が出来ること、また全体的に内視鏡の太さが細くなったことから挿入時の苦痛が軽減されました。特に後で紹介する経鼻内視鏡は5mmほどの細さです(図1)。

しかし、どんなに楽になったとしても、どうしても検査をしたほうが良いのでしょうか？理由として3つ挙げられると思います。

1. 日本は、胃がん、大腸がん

が非常に多い。最新のがん統計により、男性のがん罹患(新たにがんにかかること)1位は胃、2位は大腸、3位は肺、女性の1位は乳房、2位は大腸、3位は胃、2位が大腸、3位は肺となっています(図2)。日本では国民の約半数以上がピロリ菌感染していることと高塩分食が原因で胃がんになりやすく、また食生活の欧米化によって大腸がんも年々増えてきています。

2. 胃がん、大腸がんは表面の粘膜より発生するため発見しやす



2005年度がん統計によると胃がんを健診で見つかった人たちが

3. 健診を行うことにより、早期がんを見つけやすく、治療的切除可能である。

体の奥の方の臓器である膵臓など、違い粘膜表面を直接観察できるために、小さいうちに発見することが出来ます。膵臓で1cm程度のがんを見つかることは困難ですが、胃や大腸ならば可能です。

理由が分かったとしても、やはり検査はつらいので受けたくないとおっしゃる方も多いと思います。かくいう私も咽頭反射が強いので、胃カメラではいつも吐き気が起き、涙と鼻水と涎まみれになって、もう2度とやりたくないと思ってしまうます。そんな方にお勧めなのが、経鼻内視鏡です。経鼻内視鏡は極細内視鏡で鼻からスムーズに挿入でき、経口内視鏡と違い舌のつけ根を通ることがないので、不快感や吐き気をほとんど感じずに検査を受けることができ、



図3: 経鼻内視鏡検査

ご相談下さい。

検査中も会話することが可能です(図3)。実際アンケート調査でも通常の経口内視鏡を2度と受けたくないと考えていた方の90%以上が「口からと比べて大変楽で、鼻からならまた受けてもよい」と回答しています。また95%の方が鼻の痛みはほとんどないと答えています。当院でも昨年度より経鼻内視鏡を導入いたしましたので、皆様方も経鼻内視鏡検査を受けることが可能となりました。ただし、患者さんによっては検査が適さないこともございますので担当医と

の9割の人が治療的切除を行うことが出来ました。一方、症状が出たから病院に来院し見つかった人たちは、7割の治療的切除となりました。その理由として症状が出たから病院に来院した人たちの2割の人たち(なんと5人に1人!)に肝転移や腹膜播種といった遠隔転移が見つかったからです。したがって、健診は非常に重要で、健診を行うことによってより早くがんを見つけ、治すことが出来るようになると言えるでしょう。特に内視鏡検査はバリウムによる造影検査より発見率が高いと言われています。

では実際、どのように内視鏡検査を受けるのでしょうか？まず外科もしくは内科外来を受診していただき検査の申し込みをします。胃カメラでしたら検査前日夕食まで食事可能で、下剤は不要です。大腸カメラでしたら、前日は検査食を召し上がっていただき、その後下剤を内服し腸の中をすっきりさせます。検査当日に病院に来ていただき、検査を楽に受けられるように、胃腸の動きを和らげる薬と少しボーとする薬を注射して(大腸でしたら点滴をした後)検査をいたします。検査終了後は少し休んでいただき、通常の検査でしたら入院の必要はありません。

もし仮に早期がんが見つかったとしても心配することはありません。最後に最新の内視鏡治療についてご紹介いたします。当院では早期がんに対して、内視鏡的粘膜切除術もしくは内視鏡的粘膜下層剥離(はくり)術を行っております。先ほど述べたように胃や大腸がんは粘膜から発生するため、がんになっている粘膜の部分だけを切除すれば、手術して臓器ごと切除しなくても体にやさしく根治的治療が行えるわけです。内視鏡的粘膜切除術とは、高周波スネアと呼ばれるワイヤーを投げなわのように病変にかけて切除する方法で、比較的簡単に行うことが出来ますが、切除できる大きさが限られています。それに対して、新しい治療方法である内視鏡的粘膜下層剥離術とは、特殊な電気メスを用いて粘膜の下の粘膜下層という部分を見ながら切っ

図4 治療前 色素散布したところ。中央の凹んでいる部分とその周囲のやや隆起している部分が病変

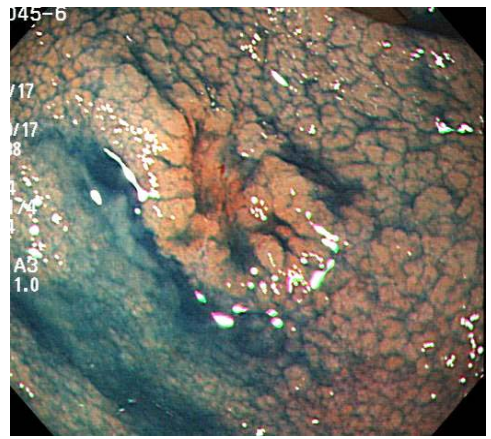


図5 治療中 特殊な電気メスを用いて、病変周囲を切開したところ

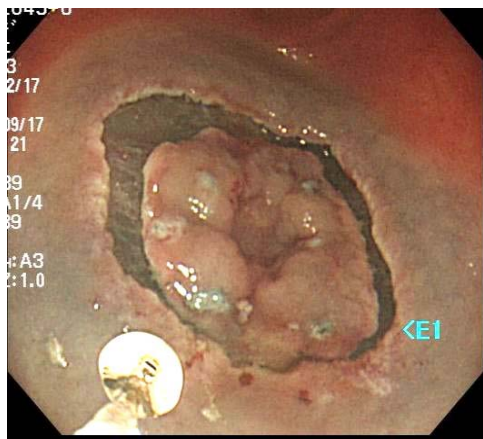
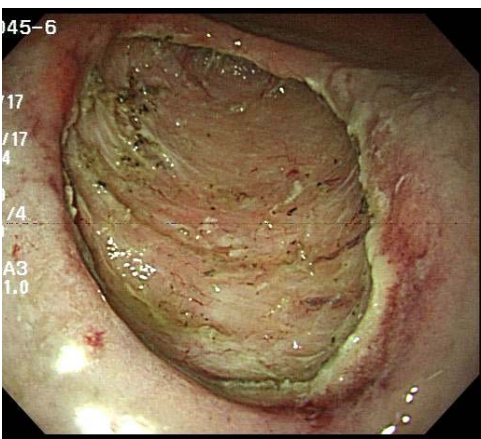


図6 切除終了後



いく方法です。(図4・5・6)この方法ですと切る部分を自由に決めることが出来るので、大きな病変でも一括切除することが可能となります。したがって、この方法を用いることによって、今までならば手術をしなければならなかった病変でも内視鏡的に切除でき、問題なければ次の日からお水を飲むことも可能となりました。

最近、内視鏡の検査、治療はかなり進歩してきています。詳しく書きませんが、大腸の内視鏡も細くなり硬さを変えられるものが出たことによって大腸内視鏡検査も楽に受けられるようになったこと、光の波長を変えて診断する技術が開発されたこと、また小腸も観察できるようになったこと

### 「モニタリングポストについて」

放射線科 茅根 弘和

モニタリングポストと言葉を聞いたことがあるでしょうか？

インターネットで調べて見ると、『放射線を定期的に、または連続的に監視測定することをモニタリング』とあり、原子力発電所の周辺でモニタリングを行うために設置された装置をモニタリングポストという。環境の放射線線量率の測定は、通常、ガンマ線を対象に行われ、検出器としてガンマ線に感度のよい、蛍光作用を利用したシンチレーション検出器や電離作用を利用した・・・と原子力防災用語集に書いてあります。ちょっと難しいですよ？簡単に言うと、原子力発電所の放射能が漏れていないかどうか24時間監視している装置です。(写真：東海原子力HPより)



茨城県には原子力発電所が東海村にあります。この発電所の周りにモニタリングポストが数箇所、モニタリングステーションという同様の装置が東海村だけでなく、日立市から鉾田町までの数十箇所監視測定しています。この測定結果は常時インターネットで見ることが出来ます。

平成11年9月30日ジェー・シー・オー(JCO)の事故が発生した時も、東海村の測定場所では、普段より高い数値が確認されています。また、原子力発電所の施設見学時こんな話をされてきました。茨城東病院の患者さんが、RT(ラジオアイソトープ)の検査で注射をした後、モニタリングポストの近くを通ったために検知されたという話です。それほど検知能力が高いことを言っていました。

原子力で事故や災害が起り、放射能漏れがあるかどうか心配の時は、モニタリングポストをインターネットで見ることが、一番早く確認できると思います。(東海村の原子力から検索してみてください。)インターネットが無い方でもモニタリングポストで高い測定値を示してないか、ニュースや新聞などで見てもらえると理解しやすいと思います。

### 【春菊の白和え】

栄養管理室

#### <材料(4人分)>

春菊	一袋	調味料
にんじん	40g(中1/3本)	
糸こんにゃく	40g	
もめん豆腐	1/2丁	
みそ	大さじ1杯	
白すりごま	大さじ2杯	
砂糖	大さじ2杯半	
しょうゆ	小さじ1杯	



【エネルギー 1人前130kcal】

#### 作り方

豆腐はふきんに包み、上から重しをして水気をよく切っておく。

春菊は軽くゆでてから1〜2cm幅に切る。にんじんはせん切りにしてゆでる。糸こんにゃくも3cmほどに切り下ゆでをする。それぞれよく冷ましておく。調味料を合わせ、よくなじませる。

に を加え、よく混ぜ合わせる。

春菊の持つ独特の香り成分は自立神経に作用し、胃腸の働きを高める、痰を切る、咳を鎮めるといった効果があると言われている。中国では漢方薬にもなっています。また、カロテン、ビタミンB群、ビタミンC、カルシウム、カリウム、鉄分、食物繊維が豊富に含まれており、栄養価の高い食品です。特に、カロテンは、ほうれん草や小松菜より多く含まれており、酸化作用による活性酸素の働きの抑制、がんの予防効果などが期待されています。

待されています。豊富な栄養が美味しく摂れるヘルシーメニューを是非お試しください。

### 11月集団指導のご案内

減塩教室(第3木曜日)

19日 午後2時から 第4会議室

『市販品の塩分量はどれくらい?』 管理栄養士

糖尿病教室(第2、4火曜日)

10日 午後3時から 第4会議室

『糖尿病性網膜症について』 眼科医師

17日 『今日の献立何にしよ?』 管理栄養士

『運動療法について』 理学療法士

24日 『糖尿病と検査』 臨床検査技師

### 公開市民講座のお知らせ

会場/地域医療研修センター 講堂  
日時/11月6日 14時

『胃がん・大腸がんを予防しよう!』

外科医長 矢野 和仁

予約の必要はありません。お気軽にお越しください。